幸反

水の出口を對じ、あたら美田が塩 水の沼と化した神子沢海岸



28年度に2000万円もの巨賞を投じて出来た護岸堤防も 破れ去る。吉原海岸の欠壊状況

農民立ち上

3

の水温が高いのではなく、川が黒部川よりはるかに高

当然低かるべき筈の北上

(昭二四年農林省調査)

₹ ₹ o 八七五

K K

なやんでいる農民にとっては、

この上の水温

海に注ぐことにあるが、 万年雪を水源とし、急速に 言えば、北日本アルプスの 低いことを物語るものであ 黒部川の水温が並はずれて

た繩瀬良明氏(横浜大学数

冷害状況を調査され

の低下は農民の死活に関する大問題であるの 与えると云う事態となっているが、冷水害に

らうよう強硬な接衝をなすことになった。 知事及び同電力会社に冷水問題を解決しても 激化反対農民総蹶起大会を開いて気勢をあげ

順次に電源が開発せられる

すると、次の通りである。 の地理的研究」の説を引用 授上原出身)の密書「耕地

水口より四〇株目迄

二坪

収穫皆無

れは大変だと叫ばれるに至

った頃は、国力を上げて戦

水利機は誰のものか

・ 廷に帰順した(日本書記)。 一 超に帰順した(日本書記)。 一 月二十一日 (一、三一四年

地がなかったのである。 だったので、論議される余 争に狂奔した昭和十六年頃 り、第一次第二次第三次と 正末期より発電事業がおこ

に及び、

現在では愛本より

上流仙入谷の取入口まで三

二月六日入善中学校講堂で入善町冷水害

電をする計画を立て、近く知事が施工認可を関西電力会社が黒部川上流において第四次発

る。なぜこんなに低いかと

冷

害 Ø

對 飨 冷

問

6

寄せ初めた高浪は次第にそ 二月十一日夜半からおし 和 晩にはその最高潮に達し、 の激しさを増して、 億 年 以 十二日 千 0

被

五 | 被高遂に二十米位となり、 百 萬 円害

えるに至った。 昭和四年以来の大損害を与 舟小屋・田畑を流失する等 あれよあれよと云う間に石 合掌枠を欠壊流失し、

九八七六五四

つき陳情請願をなした。 に県議会に急援、復旧方に 町主脳部と共に県当局並び 会全体協議会を開いて善後なす外、十七日に急施町議 策を協議し、議員全員及び

発 行 町 善 役 責任者 中田憲政 所刷 刷印 所

畑の埋没、流失の面積は二 三千七百万円である。 復旧見積終額は、七千八百 薬漁業の被害見積総額は、 これとかわらぬもので、 吉原部落五十里部落なども 十町歩に及び、砂礫の堆積 ったのは神子沢部落で、 メートルという状態、 たのは神子沢部落で、田田畑の被害で最もひどか 護岸施設の欠壊した

建設関係の両方を合せた損 万円余であり、農林関係と 曹見積額は、 億一千五百 農 叉

してみよう。 地方の北上川の水温と比較 で海に注ぐのである。 急流であり、低水温の状態 これを冷害で有名な東北 黒部川北上川の水温

(愛本で) 黒部川

二五五度 (盛岡で) t. Oz 稔実障害を来し、

被害状況調査や現地視察を

町当局及び町議会では、

万になるのである。

ある。 のことである。 三十度~三十四度が最適で 三升の滅収することは周知 するものなので、 度一度下ることに反当一斗 元来稲は、暖帯地方に適

害は大したものである。 育たず、全田面に及ぼす冷 本流は勿論各用水に於ても 水稲栽培には絶対に向かな い低温で、 ったら却って有害である) 然るに黒部川の水温は、 (それ以上温度が上 水口は全然稲が

田面水温 られたと聞いている。発電の証言によって認可が与えの証言によって認可が与えのにいと云う会社側 も、認可を与えた知事も気のかも知れないし、農民達或は会社側も知らなかった 作に大被害を与えることに時とすれば、水温低下が稲に関する経験の無かった当 づかなかったのであろう。 大正八年に日本電力会社

ちの間に問題視されるに至 と共に、漸く心ある農民た が、續いて第二発電の起るのものでなかったであろう 水温低下は、人の気づく程 った。第三発電開始で、 なるほど第一発電による であることは明かである。 に冷水害の減少による増收 とれているのは、天候の外 増収に比して、二割程余計 ある。他の町村の三四割の おり、大畧五割強の増収で ろ昨年は九万四千石とれて 六万石か六万五千石のとこ 収している。即ち、例年は 等によって特に入善町は増 こと、流水客土による節水

四十

からない(粛慎考ー やかした民族で、正体は はシュクシン)をも討伐し 渡って粛慎族(ミシハセ又 を討伐し、遠く北海道まで 百八十艘を率いて、アイヌ っていた阿倍比羅夫が軍船 の五月)当時越の国守とな

粛慎は支那北辺をおび

古典研究一津田博士)

水を多く使わなかった 彦が越の国を巡視した。 年七月一日(一、三大七年 崇峻天皇 (三十二代) 二 景行天皇 (十二代) (一、八四六年前)吉備武

古戰場入善 (5)

斉明天皇(三十七代)四

黑部川の水は どんなに冷いか

は、全く上流水域に等しい離れてから海岸までの十粁 流を持たない。愛本で山を うにゆるく流れる中流、 黒部川は、他の河川のよ

ためでもある。 稲作 ح

すでに昭和二十九年十二月 稲作と水温については、

当時の「月報入善」で述べ 止をなし、十八度以下では 以下では発芽障害や生育停 たところであるが、十三度 そして温 この対策として

等の手段が講じられている ⑤温照用水に改修 ⑥客土 ②迂廻水路 ④温水溜池 して漏水を防いで節水する に溜池を作る ②畦立栽培

なぜ放置していたか

百万円を要するのである。 を使用し、 県使用量の二割と云う大量 八九〇〇〇坪であって、 らイモチ対策として田を干 に要する温床紙代は一千七 の安全が期し難い状態とな は折衷温床によらねば苗代が起きなかったのに、現在 の天候異変の外は発芽障害 えるのは苗代である。 発電開始以前は、降雹等 水温低下の最も顕著に見 温床紙の使用量は、 昨年は天候状態か 苗代全体の実施

> の大和族とアイヌ族の勢力橋や関のある所は、各時代 は狭い所を守る柵である。

(大百科事典、越中郷土史) の境界を示すものである。

け水そのままの姿で運ばれ るため、水温が一層さがり ドンネルからトンネルへと 十余粁に及ぶ長距離を全部 推定三度以上の低下をした 全然日の目を見ずして雪解

> 六 八。八%

八%

たらした天然の流水客土が

とはいえ、毎年洪水毎にも

って用水費の節減は出来た 事をしてくれたが、之によ

減殺されている。 以上のような順序で収穫が 四四•七%

二九。 二%

①水口 中断されることになり、却 秋おち減収と云う不結果に なっているのである。 って耕土の老朽化を来し、

冷水害はいくら程か

は無視するわけにはいくま 発電をする場合は、水温の 来の被害補償は別として、 の上発電によって水温を下 民の蒙っている冷水被害は 下らない施設等を講じて欲 げられたら大変である。従 莫大なものであるのに、こ しいと云う農民の切なる声

蝦夷に備えた

越と信

らば、之が補償は発電会社民が多大の不利益を蒙るな民が多大の不利益を蒙るな 信ずる。 決の責任は、当然認可を与 が食うべきであり、之が解 えた県がとるべきであると 以上のように毎年本町農 濃の民を選んで柵戸 来た。念珠関とも書く。関と ネズガセキ)という柵が出か山形、新潟県境に扉関(か山形、新潟県境に鼠関 町に磐舟柵を造り、 へ)を置き、 (日本書記) 其後何時の頃

で構えた城の事で、共に敵 意である。城は石と土で築 たものである。 はサクと読み、城(キ) 前)今の新潟県岩船郡岩船 に対する防備の為に築造し いたものをいゝ、柵は木材 沼垂」の事で、 大化四年(一、三〇九年 ヌタリというのは、 城(キ)の間はキ又 40

護岸堤防が見る影もなく破壊され、 家も田畑も土砂に 埋まった吉原海岸の惨状



高浪にえぐり取られたまま永久に帰らない八幡毎岸の

とは論をまたない。 ることを認められているこ 水を飲み、その水で耕作す 川沿岸に住むものが、その 法律制定以前にすでに黒部が享有すべきかと云えば、

東に向って移り去った。

大化三年、

今の新潟市の

青い果実

越の国の鼠が昼夜相連って の如くであった。翌二年、 た。砂上に跡あり、耕田状木が東に向って移り去?

九日)越の国の海岸の枯浮 一、三一一年前、今の一月

動物記 きるか

バッハ

大化元年十二月十四日(

莫大なる損害に対しては、年にわたって農民に与えたに乗り出しておらず、又永 い。只、其の間合口用水工ビター女の支出をしていな むりして何等の具体的対策 いる本元の電力会社が頻か れているが、被害を与えて が冷水対策に乗り出してく れるに至った。 池の設置・温照水路改修・ 策の手がのべられ、温水溜 まって、 流水客土等の事業が進めら ここに残る問題は、 戦後食糧自給の国策と相 漸く政府による対 国家

ことを許すと云う意味に解 範囲で上流に於て発電する に少しも悪影響を与えない と云うことは、 る 水温も含まっているのでもので、その条件の一つに るあらゆる条件を云うべき ではない。その水の保有す えるならば、単に水量のみ 県が発電の認可を与える 水利そのものについて考

造る前兆であったか」 行ったのはこの柵(キ) 桐造(キノミヤツコ) キ)が造られ、柵戸(キノ って統率させた。老人等は 「数年の間鼠が東に向 へ=柵を守る家々) をおき

川向いに淳足柵(ヌタリノ 酸基提樹 告 抹香町 夜霧の顔 おたふく物語 入社試験 白 人の私

山本周五郎 川崎長太郎 丹羽文雄 上林 大岡昇平 菊田 源氏鶏太 吉屋信子

現代史の中のひとり 食卓の女化史 三百六十五日をどう生 新しい政治の考え方 由比家の姉妹 小説作法 実践篇 丹羽女雄 独占資本の内幕 紫田徳衛 斐太猪之介 亀井勝一郎 注 春山行夫 朝山弘雄 清水 牛島義友

入善圖書館新刊案內

たのしい生活のために 幸福な生きかた 河盛好藏 永井龍男

の国とアイヌの国境を視察縄夫(アベノェラフ)が越

皇極天皇 (三十五代)

九

前、今の八月八日)阿倍比

-73-

より優れてい が特に他町村 れたものと思 る点が認めら

「一生に一度のことだ」と

状と記念品) (写真は表彰

> 望んでいるのである。 から、だれかが皮切りを断打消されている現状である て折角の改善意欲がいつも 誠に喜ぶべきことだ。従来 れるようになったことは、 や婦人会等で真剣に考えら

行してくれることをお互に

をひろげさせたりするのを て酔いつぶしたり、ご法事 飲めないものに無理強いし

営むに必要な品を双方の間 それよりもむしろ新世帯を 探す役だったろうが、今は た昔は、娘を賣りつける役

> 美しくする工夫をなすべき のは時代錯誤も甚だしい。

学の事で心をなやます時で

もあります。 間近にせまり、就職や、

毎年卒業の前后は種々の

〇外出が多くなったり帰宅 ○持物に不審の点がない

記者クラブN生

う意味で神前結婚を行うも など、亡き父の前で』と云 国神社では特に遺族の場合 婚があるようだ。富山の護

はずすことは無理もないが態。だから結婚式にハメを

ある)

仲人は、嫁が道具であっ

い。(仲人のいらぬ場合も役目をなすか吟味してみた

新時代の仲人は、どんな

飲めるものは良いとして、

の赤ん坊まで勘定に入れて 十四万七千石、生まれたて

以上の各項目

9

る。 策が良好

だ。

これについて、若い人達

でならない。 来ただろうと思うと、

最近本県でも相当神前結

けるのであるが、これは、 制を廃止せよとの論を見か 降外米の価格の下落傾向を

うべき重大問題だと思う。 生産者消費者共に大いに考

麦の場合は、その品質が

った。昭和の初期から日支

ے

こにムダあり 婚式

結

に · つ 3

4

7

(2)

結婚式とお酒

されたのは、大正末期であ て比較的順調に外米の輸入

栄

あ

或

表

彰

HT

最近特に昭和二十八年以

麦と同じ様に米の統

善!

入

町村の優良町村表彰が行わ総会に於て、都道府県各一

5 4 3

学校施設が良い。 新町の発展が順調。

新生活方式建直しを要求

華なこと、祝い酒を馬鹿飲 の杯を厳粛に行うにある。

みすること、そして、夜を

こんなのを利巧者とされて て交杯を續ける。かえって はいせんに酒をあけたりし 断を願いたい。

明かして祝うことが、よい

ところが実際は御膳前が豪

結婚式の本義は三三九度

神前結婚は如何!

6

農業の振興が目立っ 公民舘活動の優良。 役場事務運営の円滑

いる。

決してムダではない。お互 一番ムダ金のかかる結婚の 月三十一日全国町村会

全 る

或 全

町

村

會

t

IJ

表彰の栄に俗した。これはれたが、わが入善町は見事

徴税成績が良い 円満なる合併の遂行

8

厚生施設殊に保育託

児施設が 優秀であ 衛生施

> 意義ある形式に 改 むべ き来るだけ現代に 適合した の自覚と協力によって、出 ムダにメスを入れることは されている現下において、

> > お流れになったそうな。こ諸道具が無いということで 設後日尚浅く、式を挙げる ものが四組もあったとか。 で式を挙げたいと希望する の中小摺戸地区で、公民舘 十組の結婚式があった。そ 十二月の大安の日などは幾

然るに、小摺戸公民館は建

る。

んな時、物もちの有志が之|実を設けては一バイやるの

けにはゆかぬ。

を後援してくれたら実現出

残念

から七月まで七ヶ月間に飲 が好きな国民で、昨年一月 は、天の岩戸の時代から口 式のように考えられ勝であ

仲人のやくめ

みも飲んだり各酒合せて六

米の場合は?

1

D's

惡

11

一るのである。台湾も韓国も このほぼ半量を輸入してい

昭三十年度

政府買入最終価格

である。日本は現在ですら

々に論ずる事は円示ない。米に頼った米の統廃は、軽

営む高見啓二氏(57才小杉部落)の経営ぶり この仕事をしている黒東唯一の苗物菜を

四月五日の予定、十二坪の日の予定である。(西瓜は

仮植は二回。八坪の温床

とする青少年があやまちを

犯すようなことがあっては 学校に或は実社会に進まん 月十七日、キウリは三月一うが、ナス、トマトは、二

だ挙句、事故を起す例も少

くありません。

希望と歓喜に満ちて上級

0

統

制

撤

廃

昭和二十七年に麦類の統 麦の統殿―間接統制

入善出張所長 浜

農林省富山食糧事務所

国内産麦の生産 一内地産を凌駕していると共 輸入麦を政府が操作してい出廻る量をはるかに上廻る なのである。 るから、市場の安定は可能 米の場合は、その実情は

間接統制に移

のである。 と云うことは、全くちがう 正に反対である。 と云うことと、外米が安い また、外米は安くなった

結果であった。 増して供給過剰となり、 外国における麦類の生産が 供給が増えたのではなく、 したのは、

そ

定価格によって指示し、麦類の生産者価格は、 れが日本にも影響してきた

政公

外米輸入狀況は?

麦をプール(価格調整)し府の売却は、輸入麦に内地 市場の安定を得ている。

て売却しておるので、

応

九○○万石という大豊作で あったが、これをもって常 態生産と言うものはあるま 爆発的に生じる。 **糧問題は、この凶作の年に** ことは当然考えられる。食 戦前自由経済時代におい 本年度の内地産米は、 給状況は、

菜

0 (5)

苗

づ

< ŋ

は、自由経済時代に日本が石と公表されている。これ The same of the

に資したい。と、

蔬菜の販路をひろめたい。③多角営農の振興 **培によって駆逐したい。②隣県青海方面まで**

いった高次な考えに基づい

十数組の縁結びが行われた

田 幸 Do 晴 れており、あとは麦食をしれており、あとは麦食をし 〇万石に過ぎず、消費者の に米の輸入は昨年で一一五 百万人に達している。然る 七千万人、現在は約八千九 いるのである。 一方人口は、 昭和十二年で 昭和の初期

脳貴するであろう。 なると、

ばならぬことになる。そう 地の準内地を終ざらいせれ 期待できないので、世界各

進内地米

一石当り

= H.O

台湾

世界の米価は再び

統 脱がもたらするの

して来たればこそ安くなっ **理し、統一ある買付を持續** 下は寧ろ日本が米を統制管 世界の郊内地米の価格の低

南部米

日、ナスは五月十五日~二

十日と云り日程でさばきを

て昭和二十九年よりも幾分

悪の芽をつみとって、更生

への転機を作るのが警察の

つける。

健苗の育成のコッは、

温

も学生、

生徒はその大部分

旦

西瓜は五月十日~十五

キウリは五月五日~十

旗犯行為(犯罪ではないが

警察で取扱った昨年中の

限を受けるわけだが、 も立てている。 坪の面積がいる。 に対して一回目は三塔、 温床で仮植しない)

苗の発売時期は氣温に制

ぬ大切なときです。

今年は、水稲十坪の計画

学校、社会が相共に協力し

て正しく温く導かねばなら

二回目は七培、五六

なりません。

親子、

父兄の肉親は勿論

この様に考えて来ると、

普通外米

ピルマ (日本) 加ィ 州タ リ 中共

七三

タイ

へへへさ

ゴジプト

腀

のが当然である。 し、米の需要量は激増するは再び変食から米食に偏向 5 が自由に賣買されるのだか米の統制が外れれば、米 現在の主食の腐給樹造 米の需要量は激増する

内地米に頼ることになる。 なる。この外米は、日本人 不足は、外米で補うことに その時内地米の絶対量の さて、昨年の世界米敷需 普通外米一二〇

蔬

新しいものではないが、①従来泊以東に他地蔬菜の苗を育てる仕事―商賣―は、決して目 方から入りこんでいた野菜を、当町の蔬菜栽

女地開 拓

良く知るならば、外麦に頼 外米はいっまで安いのかを たものと見るべきである。 って麦の統廃をした如く外 この間の実態を認識し、

大 日外 国麦 木産 小麦 外国産 日

一、七七 一、 -; 大九三 四八二

二二八

5 では不足である。殊に朝日 善町自体でも従来の生産量 含まず)は七〇グラムだか 日の野菜需要量(いも類を ||同氏の見解では、一人| 蔬菜栽培は有望だ POLY SAIN OF

育苗のコツ

のように優秀でなくても新 培は有望であり、又特産地

> 二七度~三一度、発芽後二 度の加減である。発芽迄は

鮮度で勝てるわけであるの

上期は夜冷育苗をする 外気によくあてること、 て床温を高めにして日光や 二五度。育苗後期は概し 一度~二七度、仮植一七度

夜仕

三十年度当署管内

虞犯行為一覧表

多角営農の見地から蔬菜栽 更に新潟県糸魚川方面まで 町海岸ぞいの需要地があり も進出の可能性があのるで この計算にすると、入 い見透しをつけている。 で、本町の蔬菜栽培に明る

を用いる。 西尺の雪を掘って作った。

る)を行っている。

|いるのは、どうかと思う。| の上で整える交渉係となる| あたりまえのように考えて | に立って接衝し、双方了解 であること位の智性ある判 抵抗力に限度があり、有害 人体のアルコールに対する 又酒の場では、要領よく The Contract of the Contract o てるのは、意味ないムダな の当日名義だけの仲人を立 仲人のいらぬ場合でも、式 のにすいた同志の結婚で、 のが至当のようだ。それな 播種は種類によってちが 一切電熱(5キロ)

結婚衣裳など

これら虞犯行為が度重な

う望みます。 れ、消防費の節滅されるよ

(一町民)

行の浄財を

寒行詠歌講を表彰 被保護者へ 話だ。

とかく日本人という人種 さいて作ったお酒であるか 不足になやんでいる貴重な らこんなムダは見のがすわ .お米の中から年間数百万石 いる。勿体ない話だ。食糧 なった。ただ、高島田だけ 金を使わないことが常識と 人もいまいし、そんなムダ る衣裳を用意する余力ある 今では結婚式だけに用い

生最上の聖なる式にのぞむまけのかずらをのせて、人 となり、ヘツアバーンさえ ーマが通り相場の髪形 学年末に於ける 青少年の不良化を

が問題だ。

らば、自分の髪そのものを 可愛お子さんの卒業期も

防 ぎ ま 'n

進 ○友達関係がかわっていな ○お金や、家財持出しをし と見て一応気をつけなくてれば犯罪に移行する前段階もし次のような行為があ はなりません。 常に多いのであります。 って犯罪に進展する例が非 いか。 ていないか。 飲酒していないか。 てこっそり喫煙したり、 ○普段からよく親に隠れ

感激し、これに表彰された背景はその奇篤な行為に 百円を届けて来たので、米に贈ってほしいと金二千五 地区被生活保護者(二二名) た。その得た浄財を、入善 十五日まで詠歌寒行を行っ 今年も一月二十一日から二 毎年寒行を行っているが、 入善町観音寺詠歌講では 所得税の確定申告は 本年分の 税金の糖決質

)中告と納税は 事業計画を 来るべき陽春に備えて 早目に片付け 三月十五日限りです。 樹てましよう。

に会わせる時間を制限 つけるため短日處理(日光 間の温度が高いと、同化作 **又キゥリには、雌花を** す 年別 種別 関性 排盛 娯悪 交不 濫金 徊場楽い 遊良 費銭 喫煙 計 飲酒 未満一七二○ 30 90 8 10 11 46 15 計

そうですが、この際善処さいたいと町へ要望している 地があると思います。 人だそうですが、考慮の余 今、小摺戸が消防車を買 入善町の場合は、三五

約半数です。 団を解散して新しく有能な日町は、合併と同時に消防 ると思います。 とです。総数は、入善町の 人をもって組織したとのこ 聞くところによると、

本町の消防団員が多過ぎ 消防団の改組を望む

投

書 凾

どんく相談を持ちかけて 下さい。 (警察署)

すい時期です。お子さんの中はいろいろ問題が起りや つとめです 事で心配事がありましたら 卒業の前後や学校の休暇

ればならぬことと思いまあることは注意をしなけ

年層にも次第に波及しつつ をしめ、十四才末満の低学一 多くなっております。しか 為)は、次表の通りであっ 青少年としてよくない

警察がこの虞犯行為を重 の第一歩です。 らでなく、悪への芽生えだ

からです。伸びようとする

のうちにつみとることがぞ 切です。不良化防止は早く

○態度や言葉遣いが従来と 温く見守って行くことが大 | 等常に細心の注意を払って 変っていないか。

○小遣又は使金ほしさから の時間がおそくないか。

-74 -